

愛知県広域道路ネットワーク図

【名岐道路】

- 名古屋と岐阜の交流・連携強化
- リニアインパクトを中部圏全域に波及
- ・2024年10月29日 都市計画決定

【三遠南信自動車道】

- 県境を越えた広域連携の軸となり広域道路ネットワークを形成
- ・2019年 3月 佐久間川合IC～東栄IC間 開通
- ・2025年度 東栄IC～鳳来峡IC間開通予定

【新東名高速道路6車線化】

- 三大都市圏を連結するダブルネットワーク機能の強化・物流の効率化

【西知多道路】

- 中部国際空港と高速自動車国道を直結
- ・2016年 4月 東海JCT、青海IC～常滑JCT間 事業化
- ・2019年 4月 日長IC～青海IC間 事業化
- ・2021年 4月 長浦IC～日長IC間 事業化
- ・2022年 1月 大田IC 事業化

【名豊道路】

- 重要港湾と産業集積地を直結
- ・全延長の内 約87%開通済 (未開通区間:蒲郡BP東部区間約9.1km)
- ・2024年度 豊川為当IC～蒲郡IC間 開通予定

【浜松湖西豊橋道路】

- 三遠地域の広域道路ネットワークの強化
- 三河港と高速自動車国道を直結
- ・2022年3月 ルート帯及びインターチェンジ配置案を示す国の対応方針が決定
- ・2023年11月 接続部の検討範囲の見直しが決定
- ・2024年7～8月 都市計画基本方針案及び環境影響評価方法書縦覧、説明会(8月4日)

国際競争力強化のための 広域道路ネットワークの整備推進



2024年11月

愛知県
名古屋市長
名古屋港管理組合
名古屋商工会議所
一般社団法人中部経済連合会
中部国際空港株式会社

【要望事項】

国際競争力強化のための広域道路ネットワークの整備推進

当地域は、日本一の産業集積を誇る世界でも有数な産業圏域として、日本経済の中心的な存在です。今後とも、当地域が諸外国との厳しい国際競争に打ち勝ち、日本経済を支える大きな核として発展していくためには、陸海空の総合的な社会基盤の拡充により、効率的で強靱な物流ネットワークを構築する必要があり、その整備には一刻の猶予もありません。

貿易黒字額が約8兆円と26年連続日本一を記録した名古屋港においては、コンテナ、完成自動車、ばら積み貨物など幅広い貨物を取り扱う総合的な港湾として更なる港湾機能の強化が急務であります。

また、国際拠点空港である中部国際空港においては、世界有数の産業圏域である当地域が海外との直結性を高めていくために、代替滑走路を始めとする機能強化を図るとともに、リニア中央新幹線開業がもたらすリニア・インパクトを広範囲に波及させ、空港・リニアの相乗効果を最大限に発揮するように、アクセス機能及びネットワーク機能の強化が急務であります。

「モノづくり」の元気を支えていくためには、物流・交流拠点と産業集積地、生産拠点の連携をより一層強化し、生産性の向上を図るとともに、民間研究拠点と生産拠点の連携による技術開発の加速化などにより、日本の基幹産業である自動車産業などの国際競争力を強化する必要があります。さらに、南海トラフ地震など大規模災害から国民の生命、財産を守るとともに、サプライチェーンの寸断による経済への影響を最小化する必要もあります。

この地域の持つ高いポテンシャルを十分に生かすためには、国際競争力の強化に繋がる広域道路ネットワークの整備が極めて重要であり、「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム」に基づいて、高規格道路のミッシングリンク解消及び4車線化、道路施設の老朽化対策などを着実に実行していくとともに、「国土強靱化実施中期計画」を早期に策定し、継続的・安定的に国土強靱化の取り組みを進める必要があります。

当地域が今後も日本の経済を牽引する役割を十分に果たしていくため、次の事項について、格別のご配慮を賜りますよう、お願い申し上げます。

- (1) 名豊道路は、完成自動車の国際ハブ港である三河港と輸送機械等の生産拠点を結ぶ重要な東西軸であることから、今年度中の一日も早い全線開通を図るとともに、全線4車線化に向けて整備を加速すること。
- (2) 西知多道路は、国際拠点空港である中部国際空港と高速自動車国道を直結し、リニア中央新幹線の名古屋駅とも繋がる重要な道路であり、国が責任を持つべき道路である。リニア中央新幹線の開業と中部国際空港の代替滑走路の供用が予定されている中、2027年度までに整備するため、国の権限代行区間の整備を推進し、県事業中区間の整備加速に必要な予算を確保すること。また、調査中区間の事業化に向け、関係機関の相互協力のもと着実に調査の進捗を図ること。
- (3) 名岐道路は、名古屋と岐阜との間の交流・連携を強化し、リニア・インパクトを広く中京圏全域に波及させる道路であり、来年度の事業化を図ること。また、名古屋駅と名古屋高速道路とのアクセス向上等を推進するため、名古屋高速道路公社に対して必要な支援を行うこと。
- (4) 三遠南信自動車道は、県境を越えた広域連携の軸となって広域道路ネットワークを形成することから、県内区間の2025年度全線開通に向けて整備を推進するとともに、県外区間についても早期整備を図ること。また、浜松湖西豊橋道路は、新東名・東名高速道路などと広域道路ネットワークを形成し、三河港から高速道路へのアクセスを飛躍的に高める重要な道路であることから、早期実現に向けて、都市計画・環境アセスメントを進めるための直轄調査を推進すること。
- (5) 一宮西港道路や名古屋三河道路は、高速道路ネットワーク機能の向上に資する重要な道路であるため、早期実現に向けて、概略ルート・構造の検討に続き、都市計画・環境アセスメントの手続きが進められるよう調査・支援に取り組むこと。
- (6) 新東名・新名神高速道路は、我が国の社会経済活動の根幹を担う新たな大動脈であり、ダブルネットワーク機能の強化及び物流の効率化に資することから、未開通区間の整備を推進するとともに、暫定4車線区間の6車線化の早期実現を図ること。あわせて、日本の大動脈である東名・名神高速道路の渋滞対策を推進すること。
- (7) 国道302号、国道23号十一屋・宝神間や国道1号など、広域道路ネットワークの強化に向け早期整備を図るとともに、国道247号、国道301号など、国際競争力強化に資する道路整備について、財政的な支援すること。
- (8) 「重要物流道路」は、日本の成長エンジンである本県における安定的な輸送の確保と生産性向上に重要な役割を果たすことから、重要物流道路の整備・機能強化を推進するとともに、補助制度の拡充等による財政支援を行うこと。
- (9) 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源を確保し、計画的に事業を推進すること。また、昨今の地震・豪雨などの災害の状況も踏まえた上で、5か年加速化対策後も、切れ目無く、継続的・安定的に国土強靱化の取組を進められるよう、国土強靱化実施中期計画を2024年内に策定し、当初予算を含め、速やかに必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保すること。
- (10) 資材価格の高騰や賃金水準の上昇に対応する中でも必要な道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源の創設等により、国・地方を合わせた2025年度道路関係予算について、必要な予算の確保を図ること。

2024年11月

愛知県知事
名古屋市長職務代理者 名古屋市副市長
名古屋港管理組合管理者 愛知県知事
名古屋商工会議所会頭
一般社団法人中部経済連合会会長
中部国際空港株式会社代表取締役社長

大中大鳴水大
村田村尾野塚
秀英秀明
章雄章正久
力